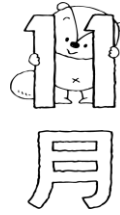




園だより



平成28年10月26日

佛教大学附属幼稚園

最先端

園長 藤堂俊英

秋は実りのアキと言われるように、食べ物がアキル（飽きる）ほど食べられるから秋というのだとか、落葉によって空が枝の間から広くアキ（空く）ように見えるから秋というのだとか、秋を感じる感じ方もさまざまです。冬を前にして温帯や亜寒帯の樹木は寒さや乾燥から身を護るために、葉を赤や黄や褐色に染め大地に帰します。これからの11月にはおいしい実りを口にする食欲の秋に、紅や黄に美しく染まった葉を目に楽しむ鑑賞の秋が加わります。

以前、四季を表す日本語に魅せられてフユ(冬)という言葉も調べたことがあります。諸説の中に、フユとはフユル（殖ゆる）、つまり「増殖する」から出てきた言葉だという説がありました。冬といえは一見、生命の活動が休止する季節のように思えるのですが、実は次の季節に自らを大きく殖ゆらす準備の時節であるというフユの受け止めがあったのです。それを知ってからは、落葉して枝がむき出しになった木々を見ると、葉を身にまとっていた時よりも、たくましく思えるようになりました。次に紹介するのは杉本深由起さんの「最・先・端」という詩です。

はずかしくて つらくて 消えてしまいたかった
こんなことも知らなかった そんなことも出来ない サイテーなやつ
もしかして クラスで自分だけ？
がっかり落ち込んだあと ふと思ったんだ
けずりたての鉛筆の芯 風を切って走る電車
朝露に光る草の芽 キバをむいて吠える波頭
その先端は いつだって 擦りむけ 悲鳴をあげているんじゃないかな
いま ズルムケの自分は
そうだ！ 生きている命の 最・先・端なんだって



落葉して丸裸になった木々を見ていると、そのするどい枝先は風雪をもろに受け、傷つき、擦りむけた最先端のようです。きずついたり、すりむけたところを表すのに「傷口」とか「創口」と書きます。又きず口を保護する包帯を固定するのに使うものを「絆創膏」と書きます。この「創」という字には「きず」「きずつける」という意味の他に、私たちがよく使う「創造」「創立」「創建」のように「はじめる」「つくる」という意味があります。おうちから出て集団生活をはじめたばかりの子どもたちにとって、毎日は擦りむけることの多い柔らかないのちの最先端であるに違いありません。でもそのすりむけた最先端は、新しく伸び行く始まりの最先端にもなります。落葉した木々の枝のたくましい最先端のように、私たちは子どもたちの成長の最先端の毎日を温かく大事に見守って行きたいものです。

